



猛暑の中で始まったトリエンナーレも残すところあと半月。ラストに向けて、愛知芸術文化センター会場（8・10階美術館及び現代美術展企画コンペ展示室）と名古屋市美術館会場は、休館日なしとなります。日曜日が運動会で月曜がお休みになった方など、ぜひお誘い合わせおいでください。記念撮影をしていただける三沢厚彦さんの白クマたちも、皆様をお待ちしています。



さて私たち美術館員はいま、トリエンナーレ終了後の作業日程や人員配置を練りつつ、今月23日から三重県立美術館で始まる愛知・岐阜・三重3県立美術館協同展「ひろがるアート」への作品輸送や、今月中に発行する年報の校正などを行っています。11月1日からはさっそくトリエンナーレの巨大な作品や

仮設の壁・床の解体と撤収が始まり、26 日からの「美の精髓」展の展示作業やブダペストからのクリムト引き取り出張などへと続きます。その間には、美術館が今年度収集（購入・受贈）したい作品を外部専門家に諮問する収集委員会もあり、また「カンディンスキーと青騎士」展をはじめとする来年以降の展覧会準備も進んでいます。

こうした活動はまたこのブログでレポートしていきますので、今後もご注目ください。
(TM)